

2024 年度事業報告集

特定非営利活動法人
地域福祉サポートちた

2024 年度事業報告



- 事業報告
- その他実績

2024年度 特定非営利活動法人地域福祉サポートちた事業報告

1 事業実施の概略

特定非営利活動法人地域福祉サポートちたは、福祉の増進と地域社会の発展に寄与するため、地域福祉を担う市民としての意識の高い人材を養成する事業や市民活動を支援する事業を行った。2027年に向けて基礎自治体ごとの「0~100歳の地域包括ケア」の実践を引き続き目標に立て、次世代の福祉人材を育てるため介護職員初任者研修課程取得を目指す高校生を応援する「介拓奨学生プログラム」への参画を継続、当法人は介護職員初任者研修を運営した。

具体的には、本法人の定款第5条第1号の事業として、介護職員初任者研修、喀痰吸引等研修(第3号研修)、強度行動障害支援者養成研修基礎・実践課程の福祉人材育成、また自治体行政職員や民生委員、日本福祉大学学生を対象に、NPO現場体験型を基盤とした人材育成研修、また昨年度に引き続き愛知県連携・協働事業(あいち協働事業サポートセンター受託(構成団体: (N)ボランタリーネイバーズ、(N)ボラのみより情報局、当法人)による、連携・協働のためのコーディネーター専科を実施した。定款第5条第2号の事業として、知多市市民活動センター管理、ベティ基金事務局の運営や手づくりカフェAdacodaの運営、まちづくりの担い手育成等の知多市市民活動支援事業、定款第5条第3号の事業として、会報発行等の情報交流促進事業、定款第5条第4号の事業として、大学や市民団体、行政等が行うNPOやまちづくり講座への講師派遣やまちづくり審査会等への参加、また弥富市市民活動センターの立ち上げを支援した。定款第5条第5号の事業として、日本福祉大学看護実践研究センターと同大地域ケア研究推進センターが主催する研究事業の事務局を行った。

2 事業の実施に関する事項

【特定非営利活動事業】

I 人材育成・研修事業

I-1 福祉人材育成・研修

安心と豊かさを実現できる在宅サービス、地域福祉を担うヘルパーを育成
(愛知県の認定に準じたカリキュラムの実施)



(1)

介護職員初任者研修(通信課程) ※愛知県指定研修事業	実施形態	①自主事業	事業規模	① 833,800円
		②介拓プログラム推進協議会		② 1,787,480円

目的：介護に携わる者が業務を遂行する上で必要な知識と技術を習得すると同時に、その実践の根拠となる考え方を学ぶことで、基本的な介護業務を行う介護職員初任者研修課程習得を目指した講義・演習・修了試験の実施

日程	場所	事業内容	受講人数
① 12/19-3/24	日本福祉大学美浜キャンパス ※130時間のうち6時間の実習は、次の事業所にて実施 居宅介護・行動援助(知多地域障害者生活支援センターらいふ、ゆめじろう) 通所介護(あぐりすデイサービスセンターみはま、同センター上野間、デイサービスセンター第二瑞光の里) 介護老人福祉施設(特養ホーム瑞光の里)	130時間十筆記試験による 修了評価(1時間程度)講 義と演習を一体的に実施	学生8人 一般2人
② 7/6-8/17	半田市西区民館、JOBsCOLLEGE、日本福祉大学中央福祉専門学校、豊田市崇化館交流館、P-BASE寿店、よつといでん、(社福)むそうほわわ名古屋星ヶ丘、他		高校生14人
		合計	24人

(2)

介拓ルーキーライセンス	実施形態	介拓プログラム推進協議会	事業規模	115,172円
-------------	------	--------------	------	----------

日程	場所	事業内容	受講人数
3/24-3/31	労働会館、(社福)むそうほわわ名古屋星ヶ丘、デイサービス春夏秋冬、ジーニアスキッズ笠山校	高校生から福祉・介護の現場で働きながら学べる「介拓奨学生」受講前の導入プログラムとして、講義+演習+修了試験(全5日、30時間)を実施	6人

介拓プログラム推進協議会 構成員：(社福)むそう、(一社)日本福祉協議機構、(N)外国人就労支援センター、(N)ゆめはーと、(N)ほっとほーむよといでん、(一社)アスバシ、(N)アスクネット、(N)地域福祉サポートちた

[高校生介拓アワード2024]

介護や福祉の現場でアルバイトとして働きながら、キャリアを切り開く「介拓奨学生プログラム」に参加した生徒たちが、これまでの学びや経験を発表するイベントへの参加

日程：3/8

場所：日本福祉大学東海キャンパス

参加者：高校生、一般、推進協議会メンバー他71名

主催：(公財)あいちコミュニティ財団



(3)

強度行動障害支援者養成研修(基礎課程) ※愛知県指定研修事業	実施形態	自主事業	事業規模	2,640,000円
-----------------------------------	------	------	------	------------

日程	場所	事業内容	受講人数
6/23、30	メディアス体育館ちた 知多市市民活動センター	行動障害が著しい人を支援する施設職員等を対象に障害特性の理解と適切な対応を学び、研修課程習得を目指した講義、演習の実施	39人
10/19、20	知多市市民活動センター		40人
1/25、26	メディアス体育館ちた 知多市市民活動センター		40人
			合計 119人

(4)

強度行動障害支援者養成研修(実践課程) ※愛知県指定研修事業	実施形態	自主事業	事業規模	1,254,200円
-----------------------------------	------	------	------	------------

日程	場所	事業内容	受講人数
7/20、21	知多市勤労文化会館 知多市市民活動センター	介護施設などで3年以上の実務経験を有する指導的立場にある職員を対象に、支援計画や手順書の作成を行うため講義・演習の実施	23人
2/22、23	知多市市民活動センター		30人
			合計 53人

[実践研修講師との意見交換会]

日程：1/14

場所：オンライン(サポートちた事務所)

内容：実践研修における事前課題の見直しと中核的人材育成についての意見交換

参加者：8人(実践研修講師6人、事務局2人)

(5)

喀痰吸引等研修<第三号研修(特定の者)> ※愛知県登録研修	実施形態	自主事業	事業規模	882,140円
----------------------------------	------	------	------	----------

日程	場所	事業内容	受講人数
4/19、25	知多市市民活動センター ※実地研修のみ対象者自宅等で実施	介護職員が特定の者に対する施設や居宅において、たんの吸引や経管栄養を行うための研修課程の実施(基本研修・実地研修)	基本12人 実地19人
			合計 31人

[喀痰吸引等研修実施委員会の設置及び運営(必置)]

日程 : 2/20

場所 : オンライン(サポートちた事務所)

委員会構成員 : いきいき在宅クリニック、すみれ訪問看護ステーション管理者、研修講師、事務局(2人)

(6)

重度訪問介護従業者養成研修(基礎・追加課程) ※愛知県指定研修事業	実施形態	委託事業 (株式会社仙拓)	事業規模	326,398円
--	-------------	---------------	-------------	----------

日程	場所	事業内容	受講人数
11/16、17	東海市芸術劇場	重度の肢体不自由者であって常時介護を要する障害者等に対する、入浴、排泄及び食事等の介護と外出時における移動中の介護に関する基礎的な知識及び技術の習得を目指した講義・演習の実施	9人
11/18-22	ホームケアステーションさてと		

[担当者のふりかえり]

日本福祉大学初任者研修では受講生の獲得に苦戦した。大学のキャリア開発講座などの講座も学生の申込みが減少傾向ではあるが、福祉業界でのスキルアップの目的を丁寧に伝え、効果的な広報ができるよう、受講者数の増加に努力していきたい。介拓奨学生プログラムでは、高校生を対象に短期間で気軽に福祉を学ぶ「介拓ルーキーライセンス講座」を新設した。無資格でも介護のキャリアを積み重ねることができる事業所でインターンとして参加し、福祉の仕事に关心を持ってもらうことがねらい。参加した高校生からは、「自閉症の方と関わり、自分を気にかけてくれたのが嬉しかった」「実習に行くことで身をもって体験できた。細かな支援方法を学んでいきたい」という感想があった。今後は、事業所でのアルバイトや初任者研修へつなげていく。(山森英津子)

強度行動障害(基礎課程)は、開講から10年目を迎えたが、ニーズは変わらず高い。今年度は報酬改定が実施されたことにより、さらに受講希望者が増え、キャンセル待ちが相次いだ。経験年数の浅い受講生が目立ったが、ワーク等では積極的に取り組む姿勢が見受けられた。また、強度行動障害(実践課程)は、受講生のアンケート等では「本研修で学んだ内容を現場で伝える仕組みが不十分であり、支援に活かしづらい」氷山シートの復習から支援手順書の作成まで、基礎課程に比べると内容が多岐に渡っているとの意見があった。講師との意見交換会を実施し、事前課題の問題点を洗い出し、受講生がより取り組みやすい課題に改善した。引き続き、受講生のニーズに合わせた研修実施に努める。(高熊仁美)

I -2 NPO人材育成研修

(1)

日本福祉大学 NPO協働型サービスラーニング	実施形態	委託事業(日本福祉大学)	事業規模	558,520円
-----------------------------------	-------------	--------------	-------------	----------

目的 : 1980年代にアメリカで始まった教育活動「サービスラーニング」は、社会活動を通して市民性をはぐくむ教育として、日本福祉大学では2009年4月から取り組み始め、学生が知多地域NPOでの活動の経験を授業内容に連結させ、将来、一人の市民として地域の問題解決に取り組む力を身につけられることを目指す

事業内容

大学とNPOとの協働を推進するコーディネート業務

- ・サービスラーニング受け入れNPO等とのコーディネート業務(20団体、学生67人)
- ・サービスラーニング受け入れNPO等との意見交換会の開催

目的 : お互いの活動内容を知り、本年度の振り返りから次年度への活動のヒントを探る機会の提供

日時 : 1/29 場所:ハジカミ(半田市)

参加人数 : 20人(団体13人、教員4人、事務局3人)



[担当者のふりかえり]

学生数の減少に伴い、団体が受け入れる学生数が減ってしまった。学生同士がコミュニケーションをとれるよう3名以上で人数調整を行った。NPOが取り組んでいる社会課題をとらえ、学生の目線から見えてきた気づきを団体へ提言するなど、活動を通して、両者が学びを得ることができた。また、教員より「団体と打ち解け、お互いの活動を深く知る交流の機会にしたい」と要望があつたため、今年度の交流会は趣向を変え、懇親会形式で行った。サービスラーニングでの学生の様子や、各団体が取り組んでいる事業を共有するなど、相互の親睦を深めることができた。(山森英津子)

(2)

インターンシップ	実施形態	受入協力	事業規模	① 10,000円 ② 0円
----------	------	------	------	-------------------

目的：当法人の業務体験や研修・会議出席等の機会の提供、会員法人での現場体験等を通じて、NPOの理解と協働を学ぶ

日程	委託元	事業内容	参加人数
① 10/8、15、18、23、11/8	知多市若者支援センター	知多市若者就労体験	1人
② 8/20、8/21	(一社)アスバシ	マイチャレンジインターンシップ(高校生対象)	1人

[担当者のふりかえり]

知多市若者就労体験として、手づくりカフェAda-codaでの受け入れを実施。飲食業では、特に忙しい時間帯に迅速な対応が求められるが、シェフやスタッフなどとの交流を通じて、協力しながら仕事を進めることで、円滑なコミュニケーションの取り方を学ぶ貴重な機会となったのではないか。(安藤千栄子)

マイチャレでは、まちづくりに関心のある高校生を受け入れ、市民活動団体の活動の様子や会員団体の地域での取り組みを紹介し、福祉型のまちづくりの実際を伝えた。「地域で活動している人たちが、笑顔で楽しそうな様子がとても印象的だった。より一層、まちづくりに携わっていきたい」との感想があった。高校生の視点での気づきから、改めて、まちづくりに大切なことを確認できた。インターンシップ受け入れを通して、事業所としても活動の意義や気づきを考えていく機会にしていきたい。(山森英津子)



(3)

マネジメントセミナー	実施形態	自主事業	事業規模	19,800円
------------	------	------	------	---------

目的：地域の暮らしを支えるNPO活動の継続を目指す

日程	場所	事業内容	参加人数
7/30	知多市市民活動センター 会議室	NPOスタッフのための「働き方」講座 ①NPOで働くということ②NPOでのキャリアを考える 講師:久野美奈子さん((N)起業支援ネット)	10人

[担当者のふりかえり]

理念を大切に活動するNPOだからこそ、業務に大きなやりがいを感じる一方で、選択に迷うことも少なくないのではないか。ワークでは、他団体との意見交換を通じて、異なる視点からの意見を得る貴重な機会となった。働き方が多様化するなかで、自分自身の「働き方」を尊重しながら、「ありたい姿」や「周囲から求められていること」を考えるきっかけとなったとの参加者の声があった。(安藤千栄子)



(4)

行政職員研修	実施形態	委託事業(知多市)	事業規模	139,940円
--------	------	-----------	------	----------

目的:住民の福祉の増進を図ることを基本とする地方自治体職員の姿勢を自ら考える機会として、協働の必要性を理解し、NPOの設立の経緯、取り組みの事例、及び協働による地域課題の解決の成果を学ぶ

日程・場所	事業内容	参加人数
10/28 南柏谷ハウス・ 知多市市民活動 センター	入庁2年目職員を対象に、豊かな市民活動を求めて活動するNPOの目線とその成果を理解し、市民と共に協働のまちづくりに取り組む行政の役割と市民協働の仕組み「地域学校協働活動」を学ぶ研修を実施 【講義】 ①研修概要「NPOと協働に関するQ&A」 サポートした 安藤 ②「市民活動センターの成り立ちと役割」 市民協働課 畠大喜さん ③権利擁護のまちづくり、設立経緯、事業内容 講師：(N)知多地域権利擁護支援センター 今井友乃さん	15人

	<p>④CS・地域学校協働活動の取り組みと住民の活躍 視察先：南粕谷ハウス 石井久子さん 地域学校協働本部ちたっ子統括コーディネーター 澤田広彰さん かすやっ子コーディネーター 今井秀明さん ⑤グループワーク、総括</p>	
--	---	--

[担当者のふりかえり]

実際の現場を知ることで、自分達の業務に活かす行動につなげることを目的としている。グループワークでは、研修を通じて得た気づきを共有するだけでなく、日々の業務で直面する課題を出し合うことで、他課との連携を考える貴重な機会となった。参加者からは、「行政だけでは解決できない課題は、地域と協力し、一緒に解決できる方法を考えたい」「行政の立場からだけでなく、市民の視点からも課題を捉え、一方通行ではない働き方を実践したい」といった感想が寄せられた。研修を通じて得られた気づきが、今後の業務や地域との関わりに活かされることが期待される。(安藤千栄子)



(5)

NPO研修	実施形態	委託事業	事業規模	① 78,650円 ② 96,800円 ③ 100,000円
-------	------	------	------	--------------------------------------

目的：地域で活動するNPOに役立つ知識や制度など研修を通して学ぶ。また「NPO現場めぐり研修」として、活動の実践現場へ訪問し、直接見聞きすることで、その活動をより理解する

日程	委託元	事業内容	参加者数
① 9/19	東部地区民生・児童委員	場所：知多市市民活動センター 会議室 「介護サービスの流れについて」講師：勝寄宏美さん（知多市高齢者相談支援センター） 「高齢者の虐待」講師：今井友乃さん（（N）知多地域権利擁護支援センター） 昼食：手づくりカフェAda-coda	17人
② 11/29	一宮市市民活動支援センター	NPO現場見学ツアー 知多半島のまちづくり（電車・バス・歩き編） テーマ：多様な人々が集う地域拠点 地域の縁側グリーン・ラソ、地域の縁側ラソ・プラザ 山崎紀恵子さん（（認N）絆） 半田創造・連携・実践センター（コココリン） 池脇啓太さん（（一社）はんだのたね）	14人
③ 2/6	一宮市民生児童委員	NPO現場見学バスツアー 一宮市民生委員研修 ふらっとスペース・ならわ 部田かね代さん（（N）ひだまり） 南粕谷ハウス 石井久子さん	25人

[担当者のふりかえり]

一宮市市民活動支援センターのバスツアーでは、絆が運営する地域住民の交流拠点2カ所と、2024年11月に開館したコココリンを見学した。どちらの施設も、地域の人々が気軽に立ち寄り、交流できる場であるとともに、住民が主体的に関わることができるような企画やイベントを実施している。地域の人々をつなぐために、多くの「かかわりしろ」を生み出し、住民同士の関係性を深める役割を果たしていると感じた。また、こうした取り組みを他地域で活動している人々が見学することで、それぞれの地域にも持ち帰り、新たな活動の種となることを期待したい。(安藤千栄子)



(6)

愛知県連携・協働のためのコーディネータ 一専科	実施形態	委託事業(愛知県社会活動推進課)	事業規模	968,207 円
------------------------------------	-------------	------------------	-------------	-----------

目的：NPOと大学・企業など多様な主体との連携・協働を促進するため、市町村職員等を対象として、連携・協働を促進するコーディネーターとしての業務体験等を含んだ、実践的な内容を学ぶ研修を開催するほか、開催結果をとりまとめ、市町村、市民活動センター職員等に配布する

企画運営：(N)ボランタリーネイバーズ、(N)ボラミミより情報局、当法人の三者で構成する共同事業体あいち協働事業サポートセンターで実施

報告書 URL : <https://www.npo-plaza.pref.aichi.jp/report/detail/65>

日程	場所	事業内容		参加人数
9/5	あいち NPO 交流 プラザ	基礎編	第1回 連携・協働、コーディネーターの「基本を知る」 講演①連携・協働基本のき～ほしい未来は、自分たちで～ 講演②協働時代の「職員」とは 講師：加藤武志さん(まち楽房(有)) グループワーク：自分ごとを共有しよう	27人
9/25	愛知県社会福祉 会館		第2回 連携・協働の話し合いの「場を企画する」 講演：連携協働を生み出す話し合いの場のデザインとは 講師：池田哲也さん((一社)地域問題研究所) 全体ファシリテーター：加藤武志さん(まち楽房(有)) グループワーク：連携・協働の仲間づくりで大切にしたいこと	26人
11/9	大府市民活動セン ター	実践編 Aコース	第3回 「コーディネーターの<目線>を知る」 講義：連携・協働コーディネーターの役割 講師：朝倉治郎さん(大府市民活動センタークーラビア) ・全体会議にオブザーバーとして参加	6人
12/7	大府市役所 多目的ホール		第4回 「連携・協働の<現場>を知る」 ・「新発見!市民活動フェア」の運営スタッフとして役割を持って参加 ・コーディネーターの動きと目線、交流を促すための創意工夫などを確認	6人
1/15	愛知県社会福祉 会館	第5回 総括	第5回 研修をふりかえり「自分の現場で実行する」 ・グループワーク：「実践のふりかえりレポート」の共有 ・コメントーター：池田哲也さん((一社)地域問題研究所)	18人

[担当者のふりかえり]

全5回のうち1、2回目を基礎編、3、4回目を実践編として3つのコース(A:市民活動フェア、B:ボラマッチ！なごや、C:ひるまのまるしえ)から受講生が選択し取り組んだ。当法人はAコースを担当し、団体同士のマッチングの仕掛けや、交流を促進する工夫、さらには次につなげるための企画について、コーディネーターの視点から学びを得た。また、5回にわたる研修を通じて、受講生同士が自然な形で関係を深め、互いの活動に関心を持ち合い、研修の枠を超えて、プライベートでも相手の現場へ足を運ぶ姿が見られた。受講生からは「協働の場では、全てを枠にはめず、自分も楽しむことが大切だと感じた」との感想があった。(安藤千栄子)

II 市民活動支援事業

II-1 市民活動事務局支援事業

(1)

手づくりカフェ Ada-coda	実施形態	自主事業	事業規模	2,031,170円
-------------------------	-------------	------	-------------	------------

目的：誰もが自分色で輝ける場の提供と「食」を通じたコミュニティづくりの応援

場所：知多市市民活動センター 調理室・交流室

事業内容：ワンデイシェフ制度運用、ワンデイシェフとして登録した一般市民・団体が提供するランチ等のサポート、情報発信

ワンデイシェフ登録数：37人(16団体)、来店者数：延べ2,425人

8/8、9 中学生レストラン(星槎名古屋中学校) 来店者数:95人	10/28 センターまつり出店 参加シェフ:6人	11/8、12/19、2/13、3/2 ワンデイシェフ体験 参加者数:のべ5人	3/3~3/21 のぼりデザイン投票
			

[担当者のふりかえり]

SNSを積極的に発信し広報することで、喫茶営業日の来客が増加した。さらに、より多くの人に知ってもらうためにセンター外にのぼりを立てる計画を進め、4人のシェフがコラボで営業を行い、その売上をのぼり購入費用として寄付いただいた。「のぼりデザイン投票」を開催し、お客様の来店時やSNSでPRを行った。2025年度はのぼりの設置を行うとともに、シェフ体験会を積極的に実施し、ワンデイシェフの活動を多くの人に知ってもらいたい。(落水洋美)

(2)

ベティ基金事務局	実施形態	委託事業((株)RandTカンパニー)	事業規模	176,250円
----------	------	---------------------	------	----------

目的：制度によらない障がい者福祉活動等の社会貢献活動を行うボランティア団体・NPO法人等を応援するベティ基金の助成事業の運用及び広報に係る事務を行うことで、団体支援及び地域交流・活性につなげる

助成月	助成先/団体概要	助成内容	助成額
4月	愛知に学びの場を広げる会/就労以外の選択肢「学びの場」を広める活動	障害を持つ青年たちとつくる「学びの場」講演会	11万円
	東海市発達障がいさんの家族の会たんぽぽ/発達障がいの子とその家族が地域で安心して過ごすための環境づくり	講演会と茶話会	2.1万円
	(一社)子どもねっこ育社HSC子育てサロン/HSCとHSPの啓発活動、子育て座談会の開催	HSPワークショップと交流会	10万円
	遊び会/発達障害児、不登校児支援	いちご狩りやクリスマス会等イベント開催	5万円
8月	(一社)oneness/障害者就労支援	利用者との日帰り旅行	8万円
	自閉スペクトラム症啓発グループSmile /自閉スペクトラム症の啓発活動および学習会	自閉症啓発活動費用、学習会	12万円
	悩めるママの一歩を応援プロジェクトなやっぽ/子育て支援	子育て中のママ居場所事業、交流会	5万円
12月	イルカくらぶ/親の会、発達障害の啓発活動	発達性ディスレクシアの支援方法講演会	2.5万円
	東海市発達障がいさんの家族の会たんぽぽ/発達障がいの子とその家族が地域で安心して過ごすための環境づくり	自閉症の特性理解と支援方法講演会	2.1万円
	パパママ学級産前産後ケア/子育て支援、親子の居場所づくり	みんなで考える防災Bフェス開催	12.8万円

[助成金審査会]

日程：3回 (4/16、8/22、12/16)

場所：知多市市民活動センター会議室



[ベティ基金交流会]

日程：11/30

場所：ベティさんの家太田川

参加者：15人 ((株)RandTカンパニー 1人、助成団体 12人、事務局 2人)

[担当者のふりかえり]

2014年のベティ基金設立から10年が経過した。設立の経緯や出資者の想いを振り返り、サポートニュース夏号にて特集記事を掲載した。また、ベティ基金紹介パネルを作成し、知多市福祉フェスティバル等で掲示し、啓発に努めた。今後も様々なイベントで掲示を行い、多くの団体や市民にベティ基金を周知していきたい。(山森英津子)

(3)

事務支援	実施形態	自主事業	事業規模	146,000円
------	------	------	------	----------

目的:NPO法人等のIT相談、講座運営などの事務代行により、活動をサポートする

日程	委託元	場所	事業内容	参加人数
4/21	日本福祉大学 菊池遼研究室	知多市市民活動センター 会議室	講演会開催事務局 「災害復興と生活再建・コミュニティの課題とは」 講師:田上琢磨さん((一社)石巻じれん)	36人

[担当者のふりかえり]

講座の事務局として、チラシの作成、参加受付対応、当日の運営までを幅広く担当した。また、法人としての情報発信を活用し、参加者を募った。事務局業務は多岐に渡るが、今後も法人の経験とノウハウを活かし、円滑な運営を支援できるよう努めたい。(安藤千栄子)

II-2 市民活動支援事業(受託契約事業)

(1)

市民活動センター相談・支援	実施形態	委託事業(知多市市民協働課)	事業規模	10,584,200円
---------------	------	----------------	------	-------------

目的:市民・コミュニティ・市民活動団体及び事業者が自発的に行う、共益・公益活動を促進するための事業実施及び機能の充実を図ることにより市民協働のまちづくりに寄与する

事業内容(右表)

- ①市民活動に関する相談業務 ※窓口での問合せ件数を含む
- ②市民活動のための場所の提供業務
- ③センター使用料徴収業務
- ④市民活動に関する情報の収集及び提供業務
 - ・行政や市内外の活動団体等からの情報は、交流スペース、ラック、掲示板、ホームページを活用した情報発信
 - ・団体情報ファイルを整理して最新の情報収集
- ⑤その他市民活動の推進に必要な業務
 - ・waiwai交流会(年2回):センター登録団体を主対象に情報交換会を実施

月	稼働日数 (日)	①相談 (件数)	②場所の提供業務		③使用料 徴収業務 (件数)
			市民活動室 利用(人)	会議室 利用(人)	
4月	29	37	298	490	82
5月	29	25	251	554	100
6月	30	32	227	721	42
7月	30	23	254	713	54
8月	30	29	208	647	36
9月	28	46	241	665	70
10月	30	53	314	861	42
11月	29	28	264	779	57
12月	28	29	235	572	170
1月	27	34	263	651	38
2月	26	43	270	717	39
3月	30	29	271	794	54
計	346	408	3,096	8,164	784

[waiwai交流会]

日程	事業内容	参加人数
6/16	テーマ「ごみ分別とリサイクルについて」 講演「今日からできる3R」&生ごみ処理器キエーロについて 講師:知多市ごみ対策課 市の課題をテーマに、環境問題に取り組む団体や地域役員、行政職員との意見交換会	 23人
9/28	テーマ「朝倉駅周辺のまちづくりを考える」 講義:「朝倉駅周辺整備について」 講師:知多市都市計画課 参加団体による交流ワーク「普段の生活」「知多・朝倉をよくするうえでの課題」「知多・朝倉でやってみたいこと」	16人

(2)

市民活動センター清掃事業	実施形態	委託事業(知多市市民協働課)	事業規模	1,003,200円
--------------	------	----------------	------	------------

目的：障がいの有無に関わらず、働く意欲のある人への就労の場の提供およびそのコーディネート

事業内容：週5日のセンター館内の清掃業務(年間253日)及び清掃具・消耗品の管理・充填

(3)

市民活動センター夜間管理事業	実施形態	委託事業(知多市市民協働課)	事業規模	235,400円
----------------	------	----------------	------	----------

目的：夜間(18:00～21:30)時における場所の提供業務と閉館作業の施設管理業務

※夜間利用申請がある日のみ対応

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
利用時間(時間)	6	11.5	7.5	9.5	13.5	8.5	24.5	13.5	22	28.5	25.5	16.5	187
利用日数(日)	2	5	3	3	4	3	9	5	7	10	8	7	66

(4)

知多市市民活動支援事業	実施形態	委託事業(知多市市民協働課)	事業規模	577,500円
-------------	------	----------------	------	----------

目的：少子高齢化の進行、単独世帯の増加など、社会環境が大きく変化していく中にあつて、地域課題、生活課題は多様化しつつあり、市民が住み慣れた地域で共に支え合いながら安心して暮らし続けるためには、様々な主体が連携、協働することが不可欠である。また、今後これまで以上に人口減少、少子高齢化が進行し、地域活動、市民活動の担い手確保が困難になることが予想される。そこで、地域の現状や社会のニーズに合った持続可能な市民活動の推進を図るため、市民活動団体が地域で活躍する機会や活動の場の創出について支援することを目的とする



事業内容：

	日程	事業内容	参加人数
1	9/8	活動紹介パネル作り方講座 講師：松田友希さん((一社)キッカケキカク) 市民活動の共感を呼ぶための効果的な伝え方を学ぶ	23人
2	10/27	市民活動センターまつり 活動紹介パネルコンテスト、市民活動団体体験ブース、 スタンプラリー	378人
3	12/7	大府市市民活動フェア「コラビア交流会」 団体紹介ブースコンテスト、ステージ発表、マッチングの種	15人
4	12/2～2/17	月曜学習室(10日間開催) センター周知を目的とした、学生への学習室の提供	33人
5	12/16 1/20 2/10	市民を対象とした、イベントの開催(月曜学習室実施期間内の開催) ・「電子年賀状づくり」講師：吉田哲男さん(いきいきPC) ・「誰でもできるセルフケア」講師：菊谷千恵さん(市民大学ちた塾講師) ・「正しい姿勢ゆがみとりのコツ」講師：生田祐江さん(個人ボランティア)	12人



[担当者のふりかえり]

パネル作り講座では、団体同士がお互いの活動を説明し合い、客観的にアドバイスをもらうことで、活動目的や内容を整理することができた。また、このパネルを市民活動センターまつりに出展し、知多市内企業からの協賛金を市民の共感数に応じて分配するコンテストを行った結果、市民活動団体のモチベーションの向上に寄与することができた。協賛企業への御礼訪問の際、企業からは、「市民活動団体と出会い相互理解が進む機会が欲しい」という意見があった。次年度では、多様な団体同士が出会い、協働を進めていけるような企画を考えていきたい。(山森英津子)

(5)

知多市地域担い手育成事業	実施形態	委託事業(知多市市民協働課)	事業規模	486,200円
--------------	------	----------------	------	----------

目的:地域活動を担う人材の養成に係る講座の実施により、地域を担う人材のリーダーシップ、ファシリテーション及びコーディネート等のスキルアップを図ることで、次年度以降の円滑なコミュニティ活動につなげる。また、受講者が他地域の住民と交流し、つながりを醸成することで、地域活動の円滑化を図るとともに、新たな取り組みの創出及び既存事業の改革などを推進できる体制をつくる

場所:メディアス体育館ちた 大会議室

日程	事業内容	受講対象	参加人数
2/23	講義①「地域で、なぜ自治？」 講師・全体ファシリテーター: 加藤武志さん(まち楽房(有)) 講義②「地域の現状とこれからの理解～地域カルテの説明」(市民協働課) ・えんたくん会議「地域の課題と魅力」わがまち自慢(強み)、近所の困りごと(弱み)	・R6年度コミュニティ役員 ・R7年度コミュニティ役員 ・地域担当職員 ・CSW	34人
3/9	講義「連携・協働の取り組み事例」 ・グループワーク「会議中の困ったちゃん」 ・教えてTAKEZO！アフターレク「明日から使える会議術」	・R7年度コミュニティ役員 ・市民活動団体 ・地域担当職員 ・CSW	37人
		延べ	71人

[担当者のふりかえり]

ファシリテーション研修を通じて、地域の担い手たちが「顔見知り」となり、新年度の地域事業を円滑に進めるため、今年度は新たなつながりを生かした事業の創出と、地域連携によって役員の事業負担の軽減を目指すため、市民活動団体にも参加を募り11団体の参加があった。えんたくん会議やグループワークを通じて、共通のテーマで対話をすることで、参加者同士が相互理解を深めることができ、前向きな交流の場となつた。(安藤千栄子)



III 情報交流促進事業

III-1 情報提供事業

(1)

WEBサイト管理	実施形態	自主事業	事業規模	0円
----------	------	------	------	----

目的:当法人の情報発信(事業内容、講座、開催イベント等の広報)を行う

事業成果:アクセス数(2024/4/1～2025/3/31)6,372回

URL <https://sunnyday-cfsc.ssl-lollipop.jp/>



(2)

ニュースレター発行 法人パンフレット発行	実施形態	自主事業	事業規模	0円
-------------------------	------	------	------	----

目的:地域福祉サポートちたの事業報告・イベント案内・会員団体情報などのほかに、福祉・NPO・市民

活動情報等を会員をはじめ、行政、社会福祉協議会、市民活動センター、市民、学生に広く発信

発行物	時期・部数	配布先
ニュースレター 「SUPPORT NEWS」	年4回(4月、7月、10月、1月) 各回1000部	会員・会員団体、 愛知県内福祉・協働部署 愛知県内社会福祉協議会 愛知県内市民活動センター 県外NPOセンター各所
法人パンフレット	年1回4月改訂 2,000部	



法人パンフレット

III-2 情報交流事業

(1)

会員交流	実施形態	自主事業	事業規模	4,000円
------	------	------	------	--------

目的：知多地域のNPO団体における課題解決、活動の方向性を考えるために必要な情報の提供を行うとともに、会員相互の懇親を図り情報交換の機会を持つことで、NPOの発展に寄与する

日程	場所	事業内容	参加人数
5/30	知多市市民活動センター 会議室1・2	Ada-codaのシェフが腕を振るった料理を楽しみながら、団体同士の交流を深める。	26人

[担当者のふりかえり]

5人のシェフが協力し、料理を振る舞ってくれました。コロナ禍では一堂に会して食事を共にする機会が失われていたが、久しぶりに食を通じた気軽な交流が実現し、スタッフの楽器演奏などを楽しんでもらいながら、会員同士が交流する機会となつた。改めで、食の場が人と人をつなげる有効な交流手段であることを実感した。(安藤千栄子)

(2)

会員リーダー研修	実施形態	自主事業	事業規模	216,000円
----------	------	------	------	----------

目的：まちづくり型ふくしを育んできた市民力を地域共生社会に生かした事例を通して、NPO活動の次なる展開を考える

場所：滋賀県東近江市内

日程	事業内容	参加人数
12/10・11	2017年に設立されたコミュニティ財団「東近江三方よし基金」の取り組みから、市民自ら住み続けたいと思える地域づくりの仕組みや、またそのサポートによって活躍する現場を見学。 ・(公財)東近江三方よし基金 常務理事 山口美知子さん ・(一社)ぐるり ETWAS NEUES 代表 大庭美香さん ・おてんとさん 代表 菅谷寛子さん ・(一社)TeamNorisiro 理事 野々村光子さん ・ファームキッチン野菜花	10人



[担当者のふりかえり]

知多地域でも、東近江市のように独自の基金を設立し、市民や企業が寄付や投資を行うことで、資金が地元で活用される仕組みを展開できれば、持続可能で魅力的なまちづくりが進むのではないかと感じた。また、成果を評価する際、単に件数や数値ではなく、「現場を語る」力が重要であることも強く実感した。具体的なエピソードや地域に根ざした活動の成果を伝えることで、より多くの市民の共感が得られ、まち全体に協力や支援の輪が広がることを学んだ。知多地域でも資源や特色を活かしながら、市民主体のまちづくりを促進し、持続可能な地域経済の仕組みを構築するために、さらに考えを深めていきたい。(安藤千栄子)

(3)

NPOと行政の意見交換会	実施形態	自主事業	事業規模	0円
--------------	------	------	------	----

目的：地域の課題について認識を共有し、意見交換を通じてNPOと行政の連携を深める

日程	場所	事業内容	参加人数
5/27	知多市市民活動センター 会議室	「『支える人を支える』まちを創る」 福祉従事者がやりがいを持って働き続けることができる、まちづくり条例(新城市)の意義・展望 講師:長坂宏さん((社福)新城福祉会)	29人

[担当者のふりかえり]

人口減少に伴い、福祉業界でも人材不足が深刻化する中、「人と人との関係」がより重要となる福祉の現場では、支援者がやりがいを持ち続けられる環境を整えることが、人材の定着につながり、結果として福祉サービスの質の向上にもつながることを改めて共有できたと感じる。現場の声が施策に反映される体制が整い、福祉従事者の持続的な支援につながることを期待したい。(安藤千栄子)



(4)

愛知県内NPO支援センター情報交流会	実施形態	愛知県内市民活動支援センター 情報交流会世話人会	事業規模	0円
--------------------	------	-----------------------------	------	----

目的：県内の市民活動センターと市町村の市民協働担当課が集い、これからのセンターに求められる役割について学び合う

日程	場所	事業内容	参加人数
11/15	あいちNPO交流プラザ	市民活動センターの役割と評価を考える ①各センターアンケート集計結果について ②グループトークⅠ（現状の把握、評価ってどうしてる？） ③グループトークⅡ（本当に評価してもらいたいポイントは？） ④全体共有	31人
3/3	瀬戸まちの活動センター/オンライン併用	災害時に市民活動センターが、出来ること、期待されること ①講演：「災害ボランティア活動の変遷と被災した住民のために市民活動センターが担える役割を考える」 講師：(N)みえ防災会議 山本康史さん ②意見交換＆全体共有	31人

[担当者のふりかえり]

センターの評価を考えるグループトークの中で、センターの評価に関して、運営委員の公募を行い、学校関係者や地縁団体の役員、一般市民などの第三者による評価を受けている事例を知った。これは、市全体のまちづくりを考える上でも、市民活動を啓発する上でも有効であると感じた。また、災害時のセンターの役割については、日常からセンターとしてできることを考える貴重な機会となった。(安藤千栄子)

IV 啓発・相談事業

IV-1 講師派遣 各種審議会・審査会・委員会等参画

NPO・まちづくり講師派遣	実施形態	行政	事業規模	121,480円
		民間	事業規模	243,153円

目的：大学、市民団体、行政等が行う福祉、市民活動支援、まちづくり、協働等へのコーディネート、講師、委員などの派遣を行い、地域福祉や市民活動の活性化を図る

	依頼元	日程	内容	派遣者
(1)大学等講師派遣				
1	日本福祉大学 国際福祉開発学部1年	4/19	現代福祉 講義「知多半島のNPOと地域づくり」	市野
2	日本福祉大学 経済学部・社会福祉学部(行政専修) 合同科目	5/23	政策形成実践特講Ⅰ 講義「知多市市民協働の取組」	市野
3	日本福祉大学 社会福祉学部1年	6/18、20	社会福祉入門「地域における福祉実践(1)－NPO－」	市野
4	日本福祉大学 田中ゼミ	8/19	フィールドワーク	市野
5	日本福祉大学 川島ゼミ	8/27、9/19	フィールドワーク	市野
6	日本赤十字豊田看護大学看護学部1年	10/23	「ボランティア活動論」	市野
7	愛知学院大学経営学部	6/14、11/22	地域課題への取り組み：まちづくりと地域福祉	市野
8	日本福祉大学 ふくしフィールドワーク実践	1/31、2/7、2/19	ふくしフィールドワーク実践	市野
9	日本福祉大学看護実践研究センター シンポジウム	2/15	保健・医療・福祉における多職種連携	市野
(2)行政・各種団体講師等派遣				
1	(N)鹿児島県NPO事業協会	10/7	地域コーディネーター養成講座	市野

2	知多市社会福祉協議会	11/16	知多市地域共生社会づくりフォーラム2024	市野
3	愛知県採用2年目職員研修	12/4	【NPO・福祉】NPOとの協働の推進について	市野
(3)各種検討委員会等委員派遣				
1	全国NPO事務支援カンファレンス会員			市野
2	愛知県とNPO行政の協働に関する実務者会議委員			市野
3	愛知県市民活動支援センター情報交流会実行委員会			市野、山森、安藤
4	(N)ボランタリーネイバーズ理事			安藤
5	(N)あいちNPO市民ネットワーク理事			市野
6	(N)だいこんの花理事			市野
7	(一社)サステナブル・コ・イノベーションフォーラム理事			市野
8	(社福)愛光園理事			市野
9	知多半島フットケアサポート会監事			市野
10	(独)国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金専門委員			市野
11	知多メディアネットワーク(株) FM番組審議会委員			山森
12	知多北部広域連合 介護保険事業計画推進委員			市野
13	知多市特別職等報酬審議会委員			市野
14	知多市環境審議会委員			市野
15	知多市都市計画審議会委員			市野
16	知多市若者支援ネット会議(4/3、6/5、8/7、10/2、12/4、2/5)			山森
17	知多市市民活動センター連絡会議 日程(月1回):4/3、5/1、6/5、7/3、8/7、9/4、10/2、11/6、12/4、1/8、2/5、3/5			山森、安藤、中野
18	知多市市民活動センター連携会議 日程(月1回):4/9、5/15、6/6、7/4、8/8、9/11、10/2、11/8、12/11、1/17、2/18、3/18			山森、安藤
19	知多市新たな市民活動の在り方検討会(7/2、8/16)			市野、安藤、山森
20	(公財)日本非営利組織評価センター「グッドガバナンス評価員			市野
21	尾張旭市自治会等活動促進助成事業候補選定会議			市野
22	尾張旭市自治会等活動促進助成事業中間報告会			市野
23	みよし市産後ホームヘルプ事業協議会			市野
24	(N)あいちNPO市民ネットワークセンター主催「防災時のいろは事業」アドバイザー			市野
25	愛知県若者未来応援協議会・半田地区協議会			山森
26	愛知県青少年育成県民会議			市野
27	(一社)全国コミュニティ財団協会 コレクティブインパクトを生み出すローカルファンド創生事業 審査会委員			市野
28	生活困窮者自立支援全国研究交流大会実行委員			市野、山森
29	介拓奨学生プログラム運営者会 日程(月1回):4/15、5/13、6/10、7/3、8/19、9/18、10/2、11/13、12/9、1/20、2/17、3/12			市野、山森

IV-2 NPO・まちづくり相談事業

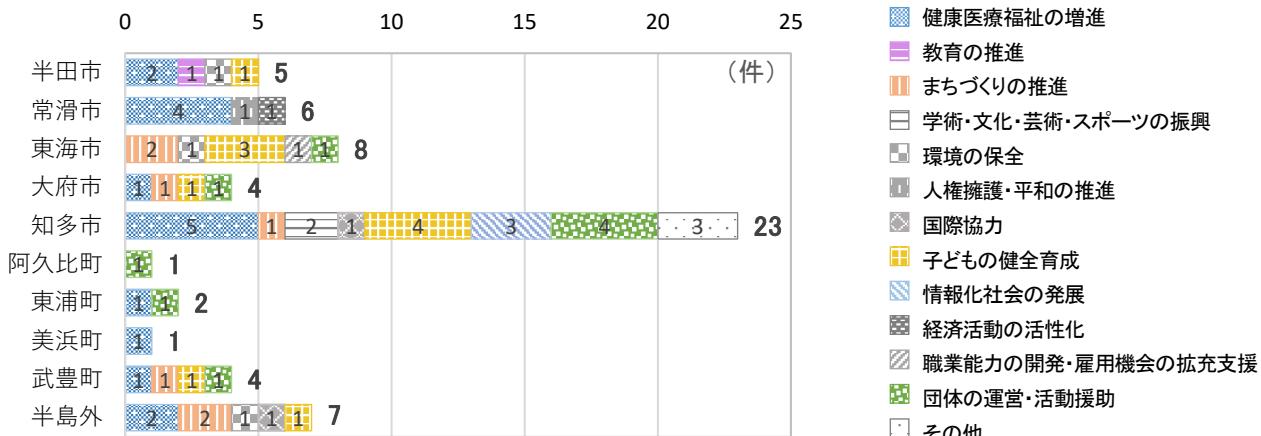
(1)

まちづくり相談事業	実施形態	自主事業	事業規模	0円
-----------	------	------	------	----

目的：NPO法人設立や団体の日常運営、課題解決による活動支援

事業内容：電話・FAX・Eメール・来訪などで相談に対応 延べ61件

[市町村別相談分野内訳]



- 健康医療福祉の増進
- 教育の推進
- まちづくりの推進
- 学術・文化・芸術・スポーツの振興
- 環境の保全
- 人権擁護・平和の推進
- 国際協力
- 子どもの健全育成
- 情報化社会の発展
- 経済活動の活性化
- 職業能力の開発・雇用機会の拡充支援
- 団体の運営・活動援助
- その他

[担当者のふりかえり]

昨年度には見られなかった「マルシェ」開催の相談が、複数寄せられた。市民活動センターに登録する団体の中にも、地域交流や市民活動の啓発を目的としたマルシェに参加する動きが見られ、地域の活性化を目的とした新たな取り組みとして注目されている。(安藤千栄子)

(2)

弥富市地方創生推進事業支援業務	実施形態	委託事業	事業規模	4,996,420円
-----------------	------	------	------	------------

目的：弥富市地方創生推進事業の担い手として設立したNPO法人ヤトミーティングが継続的に取り組み、展開できるよう、社会動向やトレンド、類似団体の事例等の専門的な視点を踏まえて総合的に支援する

事業内容

- (1) 弥富市市域資源バンクウェブサイト「やとみつけ」の管理運営
- (2) 市民活動拠点「やとみつけベース」の試行運営
(N) ヤトミーティングスタッフによるプレオープン 期間令和：7年1月21日（火）～3月9日（日） 計48日間
- (3) 交流促進事業の企画運営
(N) ヤトミーティング正会員にて構成された「交流促進チーム」による催事出展の企画及び運営 4件
- (4) (N) ヤトミーティングの育成
 - ①愛知県内市民活動センター視察訪問 11件
 - ②中間支援NPO等の総会・交流会・研修会への参加 16件
 - ③日本福祉大学研究会事務局運営 4件
 - ④(N) ヤトミーティング運営支援（相談含む） 59件

[担当者のふりかえり]

思い返せば4月末のプレゼンテーションを皮切りに、弥富市に通い続けた一年でした。この事業の発端は令和2年度に開催された行政主催による市民ワークショップでした。ここで発案された市民の意見の一つを具現化するために奔走した若き行政マンと市民との対話の結果が「弥富の人・情報・想いをつなぐ」市民活動センターでした。本事業の主目的が「弥富市民との協働による実施」であることから、事業内容の(1)～(3)は、(N) ヤトミーティングの意思決定に寄り添い、後方支援に徹する形で事業を完了しました。とはいっても、運営基盤はスタート地点に立ったばかりであることから、次年度以降の自走を見据え、事業内容(4)では、他市町の市民活動センターやNPO中間支援組織、大学等への橋渡しを積極的に行いました。同時に、今、市民活動に求められる機能の学びを得ることができました。この事業で得た学びを知多地域にも生かしていきたいと考えております。(市野恵)

(3)

行政訪問	実施形態	自主事業	事業規模	0円
------	------	------	------	----

目的：NPOと知多10市町(基礎自治体)との協働促進

事業内容：知多市とは年間を通して協働し、事業推進や情報交換を実施している。また、4市5町(半田市、常滑市、東海市、大府市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町)とは、総会後、当該地域の会員団体とともに訪問、事業報告と情報交換を実施

日程	訪問先(同行NPO)
6/24	武豊町企画政策課((N)ゆめじろう)
7/1	半田市市民協働課((N)りんりん)
7/2	常滑市市民協働課((N)あかり)
7/4	美浜町地域戦略課、南知多町企画財政課((N)チャレンジド)
7/10	東浦町住民自治課((認N)絆)
7/12	東海市市民協働課(N)ふれ愛)、阿久比町協働課((N)もやい)
7/22	大府市協働推進課((認N)ネットワーク大府)

[担当者のふりかえり]

美浜町では、啓発に取り組んでいきたい会員の課題に対し、担当課から回覧板での広報を提案いただいた。また、移住者の仕事として、福祉の仕事を団体が提案するなど、お互いの課題に対して、新たな視点で情報交換をすることができた。今後も行政訪問をきっかけに、地域での横のつながりが生まれる機会にしたい。(山森英津子)

V 調査・研究・提言事業

V-1 NPO・まちづくり研究調査提言事業

(1)

日本福祉大学地域ケア研究推進センター	実施形態	委託事業 川島教授の評価研究(科研)	事業規模	200,000円
--------------------	------	-----------------------	------	----------

目的：重層的支援体制整備事業を実施した3年間の蓄積により、組織構造・組織間の関係性・地域活動の状況等の変化を、ヒアリング調査、データ分析、アウトカム評価の指標を探索的に誘導する全体研究会の事務局及び記録作成を行う

事業内容：5市5町行政・社協職員へ参加依頼・名簿作成・連絡、学内研究会への出席及び記録作成、全体研究会への出席及び記録の作成

日程	場所	事業内容	参加人数
7/4	オンライン Zoom	第1回 学内研究会	8人
8/26	日本福祉大学 東海キャンパス S301	第1回 全体研究会 「災害と包括的支援体制 -平常時と災害時の地域福祉の連動に向けて-」 講師：椿原恵さん(倉敷市社会福祉協議会地域福祉課課長主幹・統括専門員)	49人
10/30	オンライン Zoom	第2回 学内研究会	7人
12/13	日本福祉大学 東海キャンパス S301	第2回全体研究会 「当事者として生きる。制度と課題の0.5ミリの隙間を埋める活動」 講師：中村路子さん、樋口由恵さん((一社)umau.)	46人
3/14	日本福祉大学 東海キャンパス S301	第3回全体研究会 「重層的支援体制整備事業計画の評価の視点」 ・評価検証作業部会より 川島ゆり子さん(センター長) ・事業実施体制のプロセス評価の可能性 岸佑太さん(センター研究員) ・事業実施による成果 アウトプット、アウトカム評価の可能性 加藤昭宏さん(センター研究員)	33人

(2)

日本福祉大学多職種連携ワークショップ	実施形態	委託事業(日本福祉大学看護実践研究センター)	事業規模	199,000円
--------------------	------	------------------------	------	----------

目的：知多半島5市5町の実態に基づいた在宅医療・介護連携推進事業/多職種研修を推進するための、あらゆる壁を越えたネットワーキングの構築を目指す

事業内容：事務局として5市5町行政・社協・病院・NPO関係者へ参加依頼・名簿作成・連絡の他、ワークショップ企画会議及び、全体ワークショップへの出席及び記録の作成

日程	場所	事業内容	参加人数
5/23	オンライン Zoom	第1回 企画会議	5人
6/5	知多市市民活動センター会議室	グループインタビューカテゴライズ作業	5人
7/1			5人
7/24			5人
8/2			5人
9/24	オンライン Zoom	第2回 企画会議	5人
10/17	オンライン Zoom	第3回 企画会議	5人
10/30	知多市市民活動センター会議室	第1部 「多職種ワークショップの成果と課題」の報告 白尾久美子さん(センター長)、上山崎悦代さん(医療・福祉マネジメント学科准教授)	20人
3/26	オンライン Zoom	第4回 企画会議	5人

VI 会議の開催に関する事項

	会議名	事業内容	参加者	場所・日程
1	通常総会	定款の定めるところによる通常総会開催	会員 35人 (委任状含)	知多市市民活動センター 5/27
2	理事会	定款の定めるところによる理事会開催	理事	知多市市民活動センター、当法人事務所、オンライン併用 5/20、7/16、7/29、1/20、3/17 (N)あかり 街かどサロンきらり 9/17 (N)りんりん りんごぴあ 11/18 (計年7回)
3	監査	定款の定めるところによる監査	監事	当法人事務所 5/10
4	担当者ミーティング	①福祉人材育成グループ ②運営会議 ③喫茶グループ	各担当者	当法人事務所 ① 4/26、6/4、7/10 ② 4/18、4/30、5/24、6/10、7/3、9/6、10/9、12/9、1/27、3/4 ③ 4/8、5/9、1/6、2/5
5	スタッフミーティング	事業進捗報告・共有 市民活動センター事業の改善	スタッフ全員	当法人事務所 4/8、5/9、6/4、7/9、8/5、9/2、10/7、11/6、12/2、1/6、2/3、3/3 (月1回)

その他実績

日付			研修名など	開催場所等
4月	18日	(社福)	愛光園理事懇談会	<愛光園>
	22日	(N)	ボランタリーネイバーズ理事会	<オンライン>
	24日	(N)	あいちNPO市民ネットワークセンター理事会	<みよし市市民活動センター>
5月	10日	(N)	だいこんの花理事会	<喫茶らでいっしゅ>
	14日	知多市第6次総合計画意見交換会		<知多市役所>
	16日	(社福)	愛光園理事懇談会	<オンライン>
6月	18日	(N)	だいこんの花通常総会	<喫茶らでいっしゅ>
	20日	知多青年会議所創立50周年記念式典		
	25日	(N)	ゆめじろう通常総会	<ゆめじろう事務所>
7月	27日	(N)	あかり通常総会	<街かどサロンきらり>
	28日	(認定N)	絆通常総会	<地域たすけあいセンター絆>
	29日	(N)	東海市在宅介護家事援助の会ふれ愛	<ふれ愛>
8月	30日	(N)	りんりん通常総会	<りんごぴあ>
	31日	(N)	知多地域権利擁護支援センター通常総会	<知多市福祉活動センター>
	27日	(N)	ボランタリーネイバーズ理事会	<オンライン>
9月	29日	知多市「誰もが暮らしやすい地域づくりセミナー」		
	1日	(N)	中部プロボノセンターフェスティバル2024	<ウインクあいち>
	6日	(社福)	愛光園理事会	<愛光園>
10月	12日	梅ちゃんサロン視察		<梅ちゃんサロン>
	13日	(認定N)	ゆいの会通常総会	<ゆいの会>
	18日	(N)	あいちNPO市民ネットワークセンター通常総会	<みよし市市民活動センター>
11月	22日	尾張旭市自治会等活動促進助成事業候補選定会議		
	24日	日本福祉大学学園創立70周年記念式典		
	25日	(N)	ボランタリーネイバーズ通常総会	<名古屋観光ホテル>
12月	27日	(N)	梅ちゃんサロン視察	<名古屋人権啓発センター>
	28日	16日	知多市子ども食堂交流会	<知多市福祉活動センター>
	29日	17日	知多市環境審議会	<知多市役所>
1月	30日	(N)	あいちソーシャルワーク実践研究会	<ウインクあいち>
	1月	31日	26日	25日
	2月	2月	2月	2月
2月	1日	3日	4日	5日
	2日	4日	5日	6日
	3日	6日	7日	8日
3月	4日	7日	8日	9日
	5日	10日	11日	12日
	6日	13日	14日	15日
4月	7日	10日	11日	12日
	8日	13日	14日	15日
	9日	16日	17日	18日
5月	10日	17日	18日	19日
	11日	20日	21日	22日
	12日	23日	24日	25日
6月	13日	20日	21日	22日
	14日	21日	22日	23日
	15日	22日	23日	24日
7月	16日	23日	24日	25日
	17日	24日	25日	26日
	18日	25日	26日	27日
8月	19日	26日	27日	28日
	20日	27日	28日	29日
	21日	28日	29日	30日
9月	22日	29日	30日	31日
	23日	30日	31日	10月
	24日	31日	1日	2日
10月	25日	1日	2日	3日
	26日	2日	3日	4日
	27日	3日	4日	5日

日付	研修名など	開催場所等
11月	2日 愛知県子ども若者未来会議	〈ウインクあいち〉
	3日 共育ネットはんだ a b l e B B C 発足20周年記念講演会	〈半田クラシティ〉
	6日 知多市男女評価会議	〈知多市役所〉
	9~10日 生活困窮者自立支援全国研究交流大会	〈東海市〉
	13日 東海市地域大円卓会議	〈東海市芸術劇場〉
	16日 知多市地域共生社会づくりフォーラム2024	〈知多市勤労文化会館〉
	19日 知多市都市計画審議会	〈知多市役所〉
	21日 (社福) 愛光園理事懇談会	〈愛光園〉
	24日 大興寺四季ざくら祭り	〈大興寺地区〉
	26日 こどもゆめ基金専門委員	〈オンライン〉
12月	2日 (N) ボランタリーネイバーズ理事会	〈オンライン〉
	4日 若者未来応援協議会	〈クラシティ〉
	5日 NPOで働く人の会説明会	〈オンライン〉
	(社福) 愛光園理事会	〈愛光園〉
	14日 起業の学校修了式	〈ウインクあいち〉
	17日 NPOと行政のテーマ別意見交換会	〈ウインクあいち〉
	19日 日本福祉大学「政策形成実践特講I」報告会	〈美浜キャンパス〉
	24日 知多市特別職報酬等審議会	〈知多市役所〉
1月	16日 (社福) 愛光園理事懇談会	〈オンライン〉
	17日 「第3回とうかいKyo-Do(協働)キックオフミーティング」	〈東海市立市民活動センター〉
	19日 武長先生叙勲受章祝賀会	〈名古屋市内〉
	22日 (N) あいちNPO市民ネットワークセンター 理事会	〈みよし市市民活動センター〉
	23日 知多市特別職報酬等審議会	〈知多市役所〉
	25日 尾張旭市自治会等活動促進助成事業中間報告会	〈尾張旭市中央公民館〉
2月	8日 さわやか福祉財団東海ブロック学習会「制度を考える」	〈知多市勤労文化会館〉
	10日 「あらためて協働を考えるフォーラム」~あいち協働ルールブック発行 20 年を迎えて~	〈愛知県社会福祉会館〉
	15日 愛光園設立50周年記念式典「感謝のつどい」	〈プラザホール〉
	20日 (社福) 愛光園懇談会理事会	〈愛光園〉
	22日 ボランタリーネイバーズ理事合宿	〈名古屋市内〉
3月	6日 (社福) 愛光園理事会	〈愛光園〉
	知多市環境審議会	〈知多市役所〉
	SCIフォーラム	〈プラザミュージアム〉
	21日 笠寺地区視察	〈かさでらのまち箱〉
	30日 町田市地域活動サポートオフィス視察	〈町田市〉

2024 年度決算



- 活動計算書
- 計算書類の注記
- 貸借対照表
- 財産目録
- 備品台帳

令和 6 年度

活動計算書

令和 6年4月1日 から 令和 7年3月31日 まで

特定非営利活動法人 地域福祉サポートちた

(単位 :円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
1) 受取入会金	35,000		
2) 受取会費	703,000		738,000
2. 受取寄付金			
1) 一般寄付金	30,000		
2) その他寄付金	28,929		58,929
3. 受取助成金等			
1) 民間補助金			
2) 国・地方補助金			0
4. 事業収益			
1) 自主事業収入	7,193,310		
2) 受託事業収入			
①民間委託事業収益	4,739,523		
②公共委託事業収益	19,123,547		31,056,380
5. その他収益			
1) 受取利息	9,692		
2) 雑収入	282,426		292,118
経 常 収 益 計			32,145,427
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
賃金給料	16,439,886		
法定福利費	1,966,085		
福利厚生費	376,464		
人 件 費 計	18,782,435		
(2) その他経費			
売上原価	1,469,454		
講師料	1,721,605		
旅費交通費	267,837		
通信運搬費	367,781		
交際接待費	800		
減価償却費	0		
地代家賃	18,000		
保険料	142,780		
燃料費	42,594		
消耗品費	509,784		
租税公課	1,419,595		
施設利用料	336,903		
支払手数料	299,988		
新聞図書費	36,440		
印刷費	29,850		
会議費	32,916		
リース料	323,860		
研修費	157,830		
教材費	536,560		
実習費	389,500		
委託費	3,890,660		
雑費	95,115		
謝礼	2,000		
そ の 他 経 費 計	12,217,395		
事 業 費 計			30,999,830

2. 管理費				
(1) 人件費				
給料手当	387,019			
法定福利費	46,285			
福利厚生費	28,863			
人 件 費 計	462,167			
(2) その他経費				
旅費交通費	7,305			
通信費	14,245			
交際費	21,760			
減価償却費	0			
保険料	55,818			
修繕費	3,457			
燃料費	1,450			
消耗品費	12,607			
租税公課	32,505			
施設利用料	5,701			
支払手数料	10,212			
諸会費	90,000			
会議費	8,389			
リース料	11,024			
研修費	35,002			
雑費	11,908			
そ の 他 経 費 計	329,233			
管 理 費 計				
経 常 費 用 計				
当 期 経 常 増 減 額				
税 引 前 当 期 正 味 財 産 増 減 額				
法 人 税・住 民 税 及 び 事 業 税 額				
当 期 正 味 財 産 増 減 額				
前 期 繰 越 正 味 財 産 額				
次 期 繰 越 正 味 財 産 額				

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO会計基準(2017年12月12日改正、NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法

(2) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産は法人税法の規定に基づく定率法(但し建物は定額法)

無形固定資産は定額法

(3) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税込経理によっています

2. 事業損益の状況

科 目	1) 福祉人材 育成事業	2) NPO人材 育成事業	3) 市民活動 支援事業	4) 市民活動セ ンター・委託事 業	5) 情報交流 促進事業	6) 啓発・相談 事業	7) 調査・研究 ・提言事業	事 業 計	法 人 管 理 部 門	合 計
I. 経常収益										
1. 会費収益			22,000					22,000	716,000	738,000
2. 寄付金収益			8,377					8,377	50,552	58,929
3. 補助金収益										
4. 事業収益	7,853,490	1,982,917	2,353,420	12,886,500	220,000	5,361,053	399,000	31,056,380		31,056,380
5. その他収益			3,290					3,290	288,828	292,118
経常収益合計	7,853,490	1,982,917	2,387,087	12,886,500	220,000	5,361,053	399,000	31,090,047	1,055,380	32,145,427
II. 事業費										
(1) 人件費										
給料手当	2,894,227	1,177,883	992,788	9,633,403	588,942	841,345	311,298	16,439,886	387,019	16,826,905
法定福利費	346,126	140,866	118,730	1,152,082	70,433	100,619	37,229	1,966,085	46,285	2,012,370
福利厚生費	66,275	26,973	22,735	220,600	13,486	19,266	7,129	376,464	28,863	405,327
人件費計	3,306,628	1,345,722	1,134,253	11,006,085	672,861	961,230	355,656	18,782,435	462,167	19,244,602
(2) その他経費										
売上原価			1,469,454					1,469,454		1,469,454
講師料	1,390,265	75,000		214,510	26,880	14,950		1,721,605		1,721,605
旅費交通費	28,640	17,540		1,660	66,360	153,637		267,837	7,305	275,142
通信運搬費	58,948	8,954	10,917	58,192	203,345	25,539	1,886	367,781	14,245	382,026
交際接待費		800						800	21,760	22,560
減価償却費										
賃借料	18,000							18,000		18,000
保険料	74,680	5,812	6,994	37,768	645	15,712	1,169	142,780	55,818	198,598
修繕費	25,368	6,501	7,824	42,246	721	17,575	1,308	101,543	3,457	105,000
燃料費	10,640	2,727	3,282	17,721	303	7,372	549	42,594	1,450	44,044
消耗品費	122,263	22,138	72,864	181,169	56,049	50,812	4,489	509,784	12,607	522,391
租税公課	355,934	87,566	119,692	589,554	9,732	239,477	17,640	1,419,595	32,505	1,452,100
施設利用料	85,212	13,188	141,107	71,521	2,576	18,921	4,378	336,903	5,701	342,604
宣伝広告費									4,000	4,000
支払手数料	74,946	19,205	23,114	124,806	2,131	51,922	3,864	299,988	10,212	310,200
諸会費			24,000					24,000	90,000	114,000
新聞図書費				22,440	14,000			36,440	3,850	40,290
印刷費			4,900	3,990	20,960			29,850		29,850
会議費		2,200	920	1,714	28,082			32,916	8,389	41,305
リース料	80,910	20,733	24,953	134,738	2,300	56,054	4,172	323,860	11,024	334,884
研修費					143,950	13,880		157,830	35,002	192,832
教材費	536,560							536,560		536,560
実習費	54,500	335,000		348,460		3,542,200		389,500		389,500
委託費								3,890,660		3,890,660
雑費	36,689	4,488	11,364	28,221	418	13,177	758	95,115	11,908	107,023
謝礼			2,000					2,000		2,000
その他経費計	2,953,555	621,852	1,923,385	1,878,710	578,452	4,221,228	40,213	12,217,395	329,233	12,546,628
事業費合計	6,260,183	1,967,574	3,057,638	12,884,795	1,251,313	5,182,458	395,869	30,999,830	791,400	31,791,230
当期増減額	1,593,307	15,343	△ 670,551	1,705	△ 1,031,313	178,595	3,131	90,217	263,980	354,197

3. 役員及びその近親者との取引の内容

<該当なし>

給与手当には使用人兼役務の役員分も含まれていますが、支給対象者数が少數のため個人情報保護の観点から金額の明示を省略しています。

4. 固定資産の増減内訳

科 目	期首取得価額	取 得	減 少	期末取得価額	減価償却累計	期末帳簿価額
建物						
建物付属設備						
構築物						
機械装置						
車両運搬具	1,271,879			1,271,879	1,271,878	1
器具備品	1,158,449			1,158,449	1,158,449	
その他						
合 計	2,430,328			2,430,328	2,430,327	1

5. 使途が制約された寄付等の内訳

使途が制約された寄付等の内訳は以下のとおりです。当法人の正味財産は24,678,824 円ですが、そのうち使途が制約された財産はありません。

内容	前期繰越額	当期受入額	当期減少額	次期繰越額	備考
ベティ基金助成金		705,000	705,000		入出金は仮受金にて計上
合 計		705,000	705,000		

令和 6 年度
特定非営利活動事業会計 貸借対照表

令和 7年3月31日 現在

特定非営利活動法人 地域福祉サポート ちた

(単位 : 円)

科 目	・ 摘 要	金 額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金・預金	21,322,727	
仮払金	121,000	
前払費用	16,080	
未収入金	5,281,879	
流 動 資 産 合 計		26,741,686
2 固定資産		
(1) 有形固定資産		
車両運搬具	1,271,879	
減価償却累計額	△ 1,271,878	1
工具器具備品	909,620	
減価償却累計額	△ 909,620	0
有形固定資産合計		1
(2) 無形固定資産		
電話加入権	86,590	
無形固定資産合計	86,590	
(3) 投資その他の資産		
預託金	9,930	
長期前払費用	399,854	
投資その他の資産合計	409,784	
固 定 資 産 合 計		496,375
資 産 合 計		27,238,061
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	1,533,209	
前受金	5,000	
預り金	126,428	
未払法人税等	71,000	
未払消費税等	823,600	
流 動 負 債 合 計		2,559,237
2 固定負債		
固 定 負 債 合 計		0
負 債 合 計		2,559,237
III 正味財産の部		
前 期 繰 越 正 味 財 産	24,397,110	
当 期 正 味 財 産 増 加 額	281,714	
正 味 財 産 合 計	24,678,824	
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	27,238,061	

令和 6 年度
特定非営利活動事業会計 財産目録

令和 7年3月31日 現在

特定非営利活動法人 地域福祉サポート ちた

(単位 :円)

科 目	・	摘 要	金 領
I 資産の部			
1 流動資産			
現金(本部)			176,862
現金(あだこーだ)			238,027
普通預金 UFJ銀行 知多支店			7,649,156
普通預金 UFJ銀行 知多支店			1,377,990
普通預金 UFJ銀行 知多支店			6,138,452
普通預金 JA知多 新知支店			112,343
普通預金 知多信用金庫 知多支店			237,614
通常貯金 郵貯銀行			94,676
振替用口座 郵貯銀行			5,297,607
現金預金合計			21,322,727
仮払金			
知多市民活動支援事業 他団体負担分			121,000
前払費用			
会議室等利用料 令和7年度分			16,080
未収入金			
市民活動相談支援費 知多市			2,646,200
市民活動センター日常清掃費 知多市			253,200
市民活動センター夜間管理費 知多市			235,400
知多市地域活動担い手育成事業受託料			486,200
市民活動支援事業受託料 知多市			577,500
県連携・協働促進コーディネーター研修受託料			968,207
介拓ルーキーライセンス事業受託料			115,172
未収入金合計			5,281,879
流動資産合計			26,741,686
2 固定資産			
車両運搬具 別紙備品台帳			1
工具器具備品 別紙備品台帳			0
電話加入権 0562-33-8658			41,790
0562-33-1631			44,800
電話加入権合計			86,590
預託金			
リサイクル預託金(タント)			9,930
預託金合計			9,930
長期前払費用			
遞増定期保険料前払部分			399,854
長期前払費用合計			399,854
固定資産合計			496,375
資産合計			27,238,061

II 負債の部				
1 流動負債				
未払金				
3月分給与	1,400,334			
清掃委託料	37,700			
PC購入料	93,905			
その他郵送料金等	1,270			
未払金合計		1,533,209		
前受金				
翌年度年会費前受金	5,000			
前受金合計		5,000		
預り金				
源泉所得税	85,428			
市県民税	41,000			
預り金合計		126,428		
未払消費税等				
未払法人税及び住民税		823,600		
流動負債合計		71,000		
2 固定負債				
固定負債合計		2,559,237		
負債合計		0		
正味財産			2,559,237	
				24,678,824

備 品 台 帳

特定非営利活動法人 地域福祉サポートちた

令和7年3月31日

台帳No	品 名	取 得 年 月	取 得 價 額	耐 用 年 数	償 却 率	期 首 簿 價	当 期 償 却 額	減 價 償 却 累 計 額	期 末 簿 價	備 考
3	プロジェクター	H21. 3. 25	229, 800					229, 800	0	措置法特例
4	吸引シミュレータ	H24. 12. 21	128, 760					128, 760	0	措置法特例
5	軽管シミュレータ器具セット	H24. 12. 21	207, 060					207, 060	0	措置法特例
6	パソコン 富士通	H25. 3. 25	144, 000					144, 000	0	措置法特例
7	タント	H26. 1. 6	1, 271, 879	4年	0. 500	1		1, 271, 878	1	
8	プロジェクター	H28. 3. 17	200, 000					200, 000	0	措置法特例
9								0	0	
10								0	0	
11								0	0	
12									0	
13									0	
14									0	
			2, 181, 499			1	0	2, 181, 498	1	

監査報告書

謄本

特定非営利活動法人地域福祉サポートちた

代表理事 市野 恵 殿

私たち監事は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、2024年4月1日から2025年3月31日までの事業年度における理事の職務執行を監査をいたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会、その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決済書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（活動計算書、貸借対照表）及び財務諸表の注記並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ①事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 会計帳簿並びに関係書類の監査結果

活動計算書、貸借対照表、及び財務諸表の注記並びに財産目録は、法令及び定款に従い法人の財産並びに損益の状況を適正に示しているものと認めます。

2025年 5月 12日

特定非営利活動法人 地域福祉サポートちた

監事 矢澤 久子

監事 岩田 光寿

2025（令和7）年度 特定非営利活動法人地域福祉サポートちた役員名簿

	役職	氏名	所属
1	理事	久野 美奈子	特定非営利活動法人起業支援ネット 代表理事
2	理事	佐々木 優	特定非営利活動法人東海市在宅介護家事援助の会ふれ愛 理事長
3	理事	下村 一美	認定特定非営利活動法人ゆいの会 代表理事
4	理事	出口 晋	特定非営利活動法人ゆめじろう 理事長
5	理事	戸枝 陽基	社会福祉法人むそう 理事長
6	理事	土肥 りさ	特定非営利活動法人P a k a P a k a 事務局長
7	理事	浜田 和枝	特定非営利活動法人あかり 代表理事
8	理事	三島 知斗世	特定非営利活動法人ボランタリーネイバーズ 副理事長
9	理事	山崎 紀恵子	認定特定非営利活動法人絆 代表理事
10	理事	渡邊 千恵	特定非営利活動法人りんりん 理事長
11	理事	市野 恵	特定非営利活動法人地域福祉サポートちた 代表理事
12	理事	安藤 千栄子	特定非営利活動法人地域福祉サポートちた 事務局長
13	理事	山森 英津子	特定非営利活動法人地域福祉サポートちた 事務局次長
14	監事	岩田 光寿	元 知多市職員
15	監事	矢澤 久子	認定特定非営利活動法人ネットワーク大府 理事長

(順不同、敬称略)

2025 年度事業計画/予算



- 事業計画書
- 活動予算書
- 部門別予算書

事業計画書

一、活動方針

1. 2030年ビジョン　－0歳～100歳の地域包括ケア実現のために－

活発な市民活動を基盤に専門機関と連携した地域のセーフティーネットが整い、高齢者はもとより、生活に困難を抱えるあらゆる世代の社会的弱者を包摂する、地域包括ケアのまちづくりが進んでいる

2. 2025年度の取り組み

① 知多版三方よし基金創設に向けたスタートを切る

活発な市民活動を支えるため、また新たな市民活動を生み出すための地域資金循環の仕組みであるコミュニティ財団の創設を3年後にめざす。スタートとなる今年度は、基金の仕組み（寄付・投資・助成）を先進地から学ぶ。また、先進地である東近江三方よし基金との積極的な情報交流の機会をもち、中間支援機能を強化する。

② 地域包括ケアのまちづくりの基盤となる市民活動・NPOの役割を学ぶ

市民、事業者、研究者、行政等を対象に、地域課題を自分に引き寄せ、まちづくりについて考える体験・参加によって行動を起こし、その変化を実感できる機会をもつ。

③ 新たな価値を生み出す知多圏域外との交流を図る

愛知県内市民活動支援センター情報交流会をはじめ、多様な主体との交流を広げることで新たな価値を見出し、新しい活動を生み出す機運を高める。

3. 組織運営

① 正規職員及び非正規職員が希望する働き方を優先し、かつ、その経験や知識を生かした人材育成指標をたて、相互コミュニケーションの下、円滑な事業推進に努める。

② 災害に備えて被害を最小化し、被災後の復旧・復興に対する役割や備えを講じる。

③ 理事会・事務局機能を高め、的確な情勢判断、方針決定、事業実施を行う。

二、特定非営利活動

収入予定額
28,589,000 円

I 人材育成・研修事業						11,460,000 円
事業項目／事業名	事業内容	開催時期	開催地・会場等	受益対象者	従事予定者	収入予定額
(1) 福祉資格講座						9,335,000 円
① 介護職員初任者研修 (通信)	訪問介護従事者の養成	年間1回	日本福祉大学美浜	学生20人	役職員等3名	1,540,000 円
② 介護職員初任者研修・ルーキーライセンス (介拓)	介拓奨学生プログラムの高校生を対象として介護従事者の養成	年間2回	愛知県内	高校生40人		2,030,000 円
③ 強度行動障害支援者養成研修(基礎課程)	行動上著しい困難を有する障がい者の地域生活の支援が提供できる介護職員の養成	年間3回	知多市	一般120人		2,640,000 円
④ 強度行動障害支援者養成研修(実践課程)		年間2回	知多市	一般80人		1,840,000 円
⑤ 喀痰吸引等研修(第3号研修)	特定者への喀痰吸引等医療行為ができる介護職員の養成	年間1回	知多市等	介護職員20人程度		1,000,000 円
⑥ 重度訪問介護研修	重度の肢体不自由な人の生活を支援するための介護従事者の養成。	年間1回	愛知県内	一般20人		285,000 円
(2) NPO人材育成事業						2,125,000 円
日本福祉大学 ① NPO協働型サービスランニング	学生に自発的な体験学習を提供するための現場調整を行い、十分な振り返りとともに学生の成長を促す	通年	日本福祉大学美浜	学生	役職員等2名	535,000 円
② インターンシップ	学生を対象に、NPOへの理解を促す(知多市若者支援センター)	通年	当法人事務所	学生5人	役職員等1名	50,000 円
③ マネジメントセミナー	NPO・まちづくり推進に必要な研修の開催(新人および中堅職員向け研修)	通年	愛知県内	一般 行政NPO職員等30人	役職員等1名	90,000 円
④ 職員研修	協働のまちづくりを担う人材の育成	随時	知多市	行政職員	役職員等2名	150,000 円
⑤ NPO研修	NPO現場めぐり研修など	随時	愛知県内	一般 行政NPO	役職員等3名	200,000 円
⑥ みよし市市民活動センター	センタースタッフを対象とした人材の育成	随時	みよし市	NPO職員	役職員等1名	100,000 円
⑦ 愛知県災害時外国人支援活動講座	①オンデマンド動画の作成 ②避難所運営講座 ③避難所運営訓練	事業契約期間	知多市	市民等	役職員等2名	1,000,000 円
II 市民活動支援事業						16,229,000 円
事業項目／事業名	事業内容	開催時期	開催地・会場等	受益対象者	従事予定者	収入予定額
(1) 市民活動事務局支援事業						3,130,000 円
① 市民カフェAda-coda	ワンディシェフシステムのサロン運営・コーディネイト	通年	知多市市民活動センター	市民等	役職員2名	2,800,000 円
② シニア×「食」の居場所づくりプロジェクト	キリン・地域のちから応援事業として、Ada-codaワンディシェフを活用した高齢者を対象とし、居場所で活躍する人材を発掘する。	通年	知多市市民活動センター	市民等	役職員1名	80,000 円
③ ベティ基金	ボランティア団体、NPO法人等に対し寄付を行う事業の事務局運営	通年	知多市市民活動センター	市民等	役職員等2名	240,000 円
④ 事務支援	組織運営において事務支援・IT支援を行う	通年	知多市市民活動センター	市民団体会員団体等	役職員等2名	10,000 円
(2) 市民活動支援事業(受託契約事業)						13,099,000 円
① 知多市市民活動センター相談・支援	相談・情報収集提供・場所の提供等市民活動の推進に必要な業務	事業契約期間	知多市市民活動センター	市民等	役職員等5名	11,154,000 円

② 知多市市民活動センター清掃事業	市民活動センター清掃・器具 資材の補充	事業契約期間	知多市市民活動センター	市民等	役職員等5名	1,045,000 円
③ 知多市市民活動センター夜間管理事業	市民活動センター夜間利用時の管理業務	事業契約期間	知多市市民活動センター	市民等	役職員等5名	264,000 円
④ 知多市市民活動支援事業	市民活動センターまつりの実施	事業契約期間	知多市	一般	役職員等1名	150,000 円
⑤ 知多市地域担い手育成事業	知多市内コミュニティ役員対象の研修	事業契約期間	知多市	学生・一般	役職員等2名	486,000 円

III 情報交流促進事業 300,000 円

事業項目／事業名	事業内容	開催時期	開催地・会場等	受益対象者	従事予定者	収入予定額
(1) 情報提供事業						100,000 円
① ホームページ	ホームページを通じて、NPOやまちづくりに有益な情報を提供する。	通年	当法人事務所	まちづくりに関心を持つ市民、NPO、企業、行政等	役職員等1名	0 円
② 会報発行	会報を通じて、NPOやまちづくりに有益な情報を提供する	年間4回	当法人事務所		役職員等2名	0 円
③ 情報発信強化	わかば基金によるPC購入支援助成を受け、情報発信の強化を目的とし、新しいPCを購入する。	年間回	当法人事務所		役職員等1名	100,000 円
(2) 情報交流事業						200,000 円
① 会員交流	会員相互の懇親を図り、情報交換に機会をもつことで、NPOの発展に寄与する	通年	知多市	団体会員個人会員	役職員等3名	0 円
② 会員リーダー研修	会員団体代表者等による、先進的な地域福祉を学ぶ研修	年間1回	各地	団体会員個人会員	役職員等3名	200,000 円
③ NPOと行政の意見交換会	テーマを設定し、関係者の協議の場を設営することで、地域の協働を推進する	通年	知多市	5市5町NPO・行政	役職員等3名	0 円
④ 愛知県内NPO支援センター情報交流会	県内中間支援・行政の有志職員による企画。支援センターの運営状況から支援の在り方を意見交換する	通年	愛知県内	NPO支援センター	役職員等2名	0 円
⑤ センター職員研修事業	他市町のセンターと連携し、情報交換やのデザインを学ぶ研修を行う	通年	愛知県内	NPO支援センター	役職員等	0 円

IV 啓発・相談事業 200,000 円

事業項目／事業名	事業内容	開催時期	開催地・会場等	受益対象者	従事予定者	収入予定額
(1) 講師派遣 各種審議会・審査会・委員会等参画						200,000 円
① NPO・まちづくり講師派遣	大学、市民団体や行政・企業などが行うNPOやまちづくり講座等に講師を派遣する	通年	当該地域の会場。	学生、NPOやまちづくりに関心を持つ市民、NPO、企業、行政等	役職員等	200,000 円
(2) NPO・まちづくり相談事業						0 円
① まちづくり相談事業	住民が主体となり地域が協働して行うまちづくり活動推進のための相談やコーディネートを行う	通年	公共施設など	市民NPO・行政	役職員等2名	0 円

V 調査・研究・提言事業 400,000 円

事業項目／事業名	事業内容	開催時期	開催地・会場等	受益対象者	従事予定者	収入予定額
(1) NPO・まちづくり研究調査提言事業						400,000 円
① 日本福祉大学0-100研究事業	①看護実践研究センター 在宅医療・介護連携推進のための多職種研修を考える ②地域ケア研究推進センター 包括・重層の支援体制整備事業に関する研究会	通年	知多半島	大学 行政NPO等	役職員等2名	400,000 円

2025年度（令和7年度）

活動予算書

2025年4月1日 から 2026年3月31日 まで

特定非営利活動法人 地域福祉サポートちた

(単位：円)

科 目	金 額
I 経常収益	
1. 受取会費	
1) 受取入会金	750,000
2) 受取会費	0
2. 受取寄付金	
1) 一般寄付金	0
3. 受取助成金等	
1) 民間補助金	0
2) 国・地方補助金	0
4. 事業収益	
1) 人材育成・研修事業	
① 福祉資格講座事業収益	9,335,000
② NPO人材育成事業収益	2,125,000
2) 情報交流促進事業収益	11,460,000
3) 調査研究提言事業収益	300,000
4) 啓発相談事業収益	400,000
5) 市民活動支援事業収益	200,000
① 市民活動支援事業収益	3,130,000
② 市民活動センター委託事業収益	13,099,000
5. その他収益	
1) 受取利息	16,229,000
2) 雑収入	28,589,000
経 常 収 益 計	0
	29,339,000
II 経常費用	
1. 事業費	
(1) 人件費	
賃金給料	16,305,000
法定福利費	1,909,000
福利厚生費	368,000
人 件 費 計	18,582,000
社会保険料等 通勤費 健康診断	
(2) その他経費	
Ada-coda原価	2,240,000
諸謝金	1,611,000
旅費交通費	80,000
通信運搬費	350,000
交際費	0
保険料	203,000
燃料費	39,000
消耗品費	556,000
租税公課	1,365,000
施設利用料	360,000
支払報酬	295,000
新聞図書費	20,000
印刷費	45,000
会議費	21,000
賃借料	340,000
研修費	150,000
教材費	700,000
実習費	435,000
委託料	950,000
雑費	102,000
そ の 他 経 費 計	9,862,000
傷害保険 賠償保険 自動車保険 ガソリン代(交通費にて積算) 事務用品 資料印刷 印紙 消費税 会議室 活動室 廉房 社労士・税理士報酬 福祉新聞 団体パンフ・報告書等印刷 コピ一機 電話機 セキュリティ スタッフ研修代、研修交通費 講座テキスト 福祉資格講座実習費 SL活動費 振込手数料等	
事 業 費 計	28,444,000

2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	435,000		
法定福利費	51,000		
福利厚生費	10,000		
人 件 費 計	496,000		
(2) その他経費			
講師料	0		
旅費交通費	10,000		
通信費	8,000		
交際費	10,000		
保険料	9,000		
燃料費	1,000		
消耗品費	20,000		事務用品 資料印刷
租税公課	78,000		法人税、自動車税
施設利用料	14,000		会議室
支払報酬	14,000		社労士・税理士報酬
諸会費	94,000		他団体への会費
新聞図書費	10,000		参考書籍、新聞等
会議費	18,000		理事会・総会
賃借料	15,000		
研修費	80,000		スタッフ研修
雑費	18,000		
そ の 他 経 費 計	399,000		
管 理 費 計		895,000	
経 常 費 用 計			29,339,000
当 期 経 常 増 減 額			0
前 期 繰 越 正 味 財 産 額			
次 期 繰 越 正 味 財 産 額			

2025年度 事業部門別予算

特定非営利活動法人 地域福祉サポートちた

(単位 : 円)

科 目	1)人材育成・研修事業		2)市民活動支援事業		3)情報交流 促進事業	4)啓発相談 事業	5)調査研究 提言事業	事業合計	法人管理 部 門	合計
	福祉資格 養成講座	NPO人材 育成事業	事務局 支援事業	市民活動セ ンター受託						
I. 経常収益										
1. 会費収益								0	750,000	750,000
2. 寄付金収益								0	0	0
3. 補助金収益			80,000					180,000		180,000
4. 事業収益	9,335,000	2,125,000	3,050,000	13,099,000	200,000	200,000	400,000	28,409,000		28,409,000
5. その他収益								0		0
小計	9,335,000	2,125,000	3,130,000	13,099,000						
経常収益合計	11,460,000			16,229,000						
II. 事業費										
(1) 人件費										
給料手当	3,880,000	776,000	1,136,000	9,569,000	586,000	105,000	253,000	16,305,000	435,000	16,740,000
法定福利費	454,000	91,000	135,000	1,120,000	67,000	12,000	30,000	1,909,000	51,000	1,960,000
福利厚生費	88,000	18,000	24,000	216,000	13,000	2,000	7,000	368,000	10,000	378,000
人件費計	4,422,000	885,000	1,295,000	10,905,000	666,000	119,000	290,000	18,582,000	496,000	19,078,000
(2) その他経費										
Ada-coda原価	0	0	2,240,000	0	0	0	0	2,240,000	0	2,240,000
講師料	1,191,000	85,000	30,000	205,000	60,000	0	40,000	1,611,000	0	1,611,000
旅費交通費	46,000	9,000	0	0	3,000	20,000	2,000	80,000	10,000	90,000
通信費	48,000	6,000	2,000	79,000	211,000	1,000	3,000	350,000	8,000	358,000
交際費	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000	10,000
保険料	95,000	7,000	1,000	92,000	4,000	1,000	3,000	203,000	9,000	212,000
車両費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃料費	11,000	2,000	2,000	20,000	2,000	1,000	1,000	39,000	1,000	40,000
消耗品費	96,000	65,000	100,000	150,000	138,000	1,000	6,000	556,000	20,000	576,000
租税公課	386,000	55,000	90,000	800,000	10,000	10,000	14,000	1,365,000	78,000	1,443,000
施設利用料	125,000	19,000	136,000	68,000	9,000	1,000	2,000	360,000	14,000	374,000
宣伝広告費								0		0
支払報酬	87,000	13,000	5,000	171,000	8,000	4,000	7,000	295,000	14,000	309,000
諸会費	0	0			0	0	0	0	94,000	94,000
新聞図書費	0	0		20,000	0	0	0	20,000	10,000	30,000
印刷費	0	0	15,000	0	30,000	0	0	45,000	0	45,000
会議費	15,000	0	3,000	3,000	0	0	0	21,000	18,000	39,000
賃借料	115,000	14,000	2,000	187,000	14,000	1,000	7,000	340,000	15,000	355,000
研修費	0	0	0	0	150,000	0	0	150,000	80,000	230,000
教材費	700,000	0	0	0	0	0	0	700,000	0	700,000
実習費	120,000	315,000	0	0	0	0	0	435,000	0	435,000
委託費	0	600,000	0	350,000	0	0	0	950,000	0	950,000
雑費	29,000	10,000	5,000	49,000	5,000	1,000	3,000	102,000	18,000	120,000
その他経費計	3,064,000	1,200,000	2,631,000	2,194,000	644,000	41,000	88,000	9,862,000	399,000	10,261,000
小計	7,486,000	2,085,000	3,926,000	13,099,000						
事業費合計	9,571,000			17,025,000						
当期事業増減額	1,889,000			△ 796,000		△ 1,010,000	40,000	22,000	145,000	△ 145,000
										0

【会員】 2025/02/28 時点
正会員：団体 27、個人 29 人
準会員：団体 24、個人 30 人

【役員】
理事 12 人、監事 2 人

【法人管理・運営】
市野恵（代表理事）、安藤千栄子（事務局長）、山森英津子（事務局次長）

I. 人材育成・研修事業

（1）福祉人材育成研修

- ①介護職員初任者研修/日福大美浜
- ②介護職員初任者研修/介拓奨学生プログラム
- ③強度行動障害支援者養成研修/基礎
- ④強度行動障害支援者養成研修/実践
- ⑤喀痰吸引等研修<第3号研修>
- ⑥重度訪問介護研修

（2）NPO人材育成研修

- ①日本福祉大学（サービスラーニング）
- ②インターンシップ
- ③マネジメントセミナー
- ④行政職員研修
- ⑤NPO 現場めぐり研修

II. 市民活動支援事業

（1）事務局支援

- ①市民カフエ Ada-coda
- ②ベティ基金事務局
- ③事務局支援

（2）知多市市民活動センター運営

- ①総合受付・相談支援・交流会
- ②館内清掃
- ③夜間管理
- ④市民活動支援事業
- ⑤地域担い手育成研修

III. 情報交流促進事業

（1）情報提供

- ①ホームページ更新
- ②会報発行

（2）情報交流

- ①会員交流会
- ②会員リーダー研修
- ③愛知県内 NPO 支援センター情報交換会

IV. 啓発・相談事業

（1）講師派遣・各種審議会・委員会等参画

- ①NPO・大学・行政等講師派遣

（2）NPO・まちづくり相談

- ①NPO・まちづくり相談

V. 調査・研究・提言事業

- ①NPO 団体基礎情報調査
- ②日本福祉大学 0-100 研究事業

【職員】久田富二子、高熊仁美、石井久美子、中野祐子、落水洋美、大黒美幸、伊藤ゆか

後藤田昭夫、小澤宙子、奥村隆彦、杉浦遼生、前田祥太、菅原眞斗（16 人）

交通案内



特定非営利活動法人
地域福祉サポートちた
CFSC

〒478-0047 愛知県知多市緑町 12-1
知多市市民活動センター 1階
TEL:0562-33-1631 FAX:0562-33-1743
E-mail : spchita@ams.odn.ne.jp
URL : <https://sunnyday-cfsc.ssl-lollipop.jp/>

発行 2025年5月28日
発行人 市野 恵
編集 NPO法人地域福祉サポートちた 事務局